

目次

雑誌名	東京音楽大学大学院博士後期課程 2018年度博士共同研究B報告書
発行年	2019-03-31
出版者	東京音楽大学
著者版フラグ	publisher
注記	編集・発行 東京音楽大学 非売品
URL	http://id.nii.ac.jp/1300/00001274/

目 次

まえがき	武石みどり……	1
基調報告		
音楽における「時差」：序論	村田千尋……	6
学生による事例研究		
モーツァルトにおける「時差」を超越する意思		
ーコンサートアリア KV294 の装飾を出発点としてー	福地勝美……	16
F. P. トステイの“Ideale”における「時差」		
ー作曲された時と演奏する時ー	栗原光太郎……	29
コンポーザー・ピアニストに見られる時差		
ーErnő Dohnányi 最晩年の演奏ー	鈴木啓資……	42
教員による事例研究		
任意装飾の奏法ー作曲された時と演奏する時ー	村田千尋……	56
オペラが作曲された時と上演される時	星 洋二……	66
シューベルトのマニール	村田千尋……	69
書かれた時と弾かれる時		
ーショパンのピアノ書法をめぐってー	岡田敦子……	79
山田耕筰《交響曲へ長調》に見られる「時差」	武石みどり……	88
参加教員の所見		
共同研究 B に参加して	小串俊寿……	98
(発表要旨) 日本音楽の伝承と楽譜の関わりをとらえる		
ー森田都紀『能管の演奏技法と伝承』(2018)を通してー	加藤富美子……	99
編集後記	……………	101